

2023年度（令和5年度） 事業報告書 / 活動計算書

2023年4月1日～2024年3月31日
第5回通常総会（2024年6月22日）承認



ARC NPO 法人アルペなんみんセンター

〒248-0001 神奈川県鎌倉市十二所 80 イエズス会日本殉教者修道院
Tel 0467-55-5422 Fax 0467-55-5423 <https://arrupe-refugee.jp>

法人設立日 2020年2月5日

NPO 法人アルペなんみんセンター

2023 年度 事業報告書

(2023 年 4 月 1 日～ 2024 年 3 月 31 日)

はじめに

世界で避難を強いられた人々の数は、ミャンマーやアフガニスタンなどの紛争に加え、ウクライナ危機で急増し、2023 年 6 月時点で 1 億 1,000 万人を超えました (UNHCR 情報)。

新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、国際的な移動制限が緩和され、日本に庇護を求める難民も急増しています。2023 年、日本の難民認定申請者数は前年比 266% 増の 13,823 人に達しました。難民と認定された者は 303 人と、過去最大でしたが、十分な保護を受けられない難民が依然として大勢おり、路上生活を余儀なくされる人々も少なくありません。

このような状況の中、難民認定申請者を受け入れる難民シェルターとして設立された当センターでは、これまでに 26 か国 81 人を受け入れてきました。2023 年 4 月には、東京・小金井市のカトリック教会の女子修道院の一部を借りて、アルペ小金井センターが開所されました。

難民や避難民に寄り添う取り組みは地域社会に受け入れられ、様々な交流を通じた相互理解が進んでいます。異なる背景や属性を持つ人々と地域住民が共に喜び支え合い、共生社会を築く取り組みが進んでいます。

自治体との連携や協力も拡大しており、2023 年 5 月にはアルペなんみんセンターと神奈川県、公益財団法人かながわ国際交流財団とウクライナ避難民に関する連携協定が締結されました。同じく 6 月には、国連難民高等弁務官事務所 UNHCR が自治体との連携を強化するグローバルキャンペーン「難民を支える自治体ネットワーク」に鎌倉市が署名しました。鎌倉市内の様々なステークホルダーが参加する「鎌倉なんみん共生フォーラム」とも連携し、難民を歓迎する社会づくりに取り組んでいます。

国際的な難民支援ネットワークにも参加し、定期的に現状を把握して意見交換を行っています。2021 年のミャンマー国軍クーデター以降、多くの内部避難民や難民が発生しているため、今後の支援方法についてネットワークを通じて検討していきます。

1 難民への定住支援事業

(1) 緊急シェルターの提供

2023年度実績	実人数 47人	新規入所者	32人	延べ滞在日数	10,749泊
2022年度実績	実人数 32人	新規入所者	21人	延べ滞在日数	7,698泊
2021年度実績	実人数 20人	新規入所者	13人	延べ滞在日数	3,519泊
2020年度実績	実人数 15人	新規入所者	15人	延べ滞在日数	1,857泊

* 2020年度からの新規入所者数 累計 81人 (26カ国)

* 2023年度 実人数 47人

2020年から継続3人、2021年度から継続2人、2022年度から継続10人

* 平均滞在日数 229日間 (2020年からの継続含む)

* 最長滞在日数 1,277日間 (2020年からの継続含む)

難民が安全で安心できる住居の提供

施設内には40の個室があります(鎌倉に30室、小金井に10室)。入居者の通信手段を確保するために、スマートフォンを提供し、施設内では常時Wi-Fi接続が可能です。



食事の提供

1日3食の温かい食事を提供しました。調理担当スタッフを中心に、多くの調理ボランティアの支援を受けています。食材の提供には、支援者や近隣の農家、青果店、パン屋、フードバンク、地域の団体、鎌倉市や鎌倉市社会福祉協議会からも支援を受けています。



衣料・日用品

地域の市民グループや個人から中古・新品の衣料や日用品の寄贈を受けています。寄贈品の整理や配布は地域のボランティアの支援を受けています。



(2) 医療の提供

入居者の多くは、在留資格の関係で健康保険に加入できず、医療費は全額自己負担となっています。必要に応じて、地域の医療機関での診療にスタッフが同行するなどのサポートを提供しています。医療費に関しては、当センターに寄せられる寄付や無料低額診療制度も活用しています。



医師の往診、医療相談会

週に1回、地元の医師がボランティアで往診してくださっています。さらに、月に1回、2名の医師と1名の鍼灸師による医療相談やマッサージを実施しています。また、小金井でも近隣の医師や看護師に電話相談を行い、必要に応じた往診や近隣病院の支援を受けています。

(3) 日本語学習支援

将来的な自立のため、入居者のニーズに応じて日本語の個人レッスンを実施しています。

(4) アルペファーム（農作業）

敷地内の畑で、毎週土曜日に農作業を行いました。近隣住民が中心となり、入居者と交流しながら野菜を育てました。

(5) 地域のイベントへの参加

- ・ 2023/05 第 55 回慈善茶会（鎌倉青年会議所主催）
- ・ 2023/05 みんなで鎌倉平和パレード
- ・ 2023/05 鎌人いち場
- ・ 2023/07 七夕飾りづくり（鎌倉社協）
- ・ 2023/08 レインボーブリッジ難民を考える音楽と講演（小金井）
- ・ 2023/09 鎌倉福祉まつり
- ・ 2023/10 第 65 回鎌倉市民合唱祭
- ・ 2023/10 アジアスポーツフェスティバル
- ・ 2023/11 武蔵野はらっぱ祭り（小金井）
- ・ 2023/12 あーすフェスタかながわ
- ・ 2023/12 かまくら市民活動フェスティバル
- ・ 2023/12 ハートメッセージ 2023



2023/09 鎌倉福祉まつり



2023/12 あーすフェスタかながわ

(6) 近隣の居場所プログラム

月に 1 回開催される近隣の地域食堂「ふらっとカフェ in 二階堂」に参加しました。また、小金井では日本語教室や社会福祉協議会の手芸ボランティアに毎週参加しています。



2023/05 第 55 回慈善茶会（鎌倉青年会議所主催）



2023/10 アジアスポーツフェスティバル



2023/12 ハートメッセージ 2023



(7) ウクライナ避難民支援

ウクライナでロシアによる軍事行動が2022年2月24日に開始され、多くの国内避難民や難民が発生しました。この影響で、日本にも2,606人(2023年3月末時点)が入国しています。アルペなんみんセンターは、公営住宅につながるまでの間、2名の避難民(2022年以降合計11人)を受け入れました。



2023/7 ウクライナ交流会

神奈川県、公益財団法人かながわ国際交流財団とウクライナ避難民支援に関する連携協定締結

2023年5月、神奈川県、公益財団法人かながわ国際交流財団と連携協定を結び、神奈川県在住のウクライナ避難民の支援を県内の自治体と協働して行うことになりました。



2024/2 フラワーワークショップ

日本財団助成事業「ウクライナ避難民の定住に向けた地域受入環境整備支援」の実施

日本財団の助成を受け、ウクライナ避難民への支援事業や交流事業を実施しました。

- ・ 相談、通訳事業
- ・ 行政機関、病院等への同行支援
- ・ 交流会の実施
- ・ 難民映画会の企画、実施
- ・ ウクライナ写真展の企画、実施

2024/2/28-3/3 MUJIcom ホテルメトロポリタン鎌倉

2024/3/5-19 鎌倉市役所

2024/3/15-24 鎌倉市中央図書館

2024/3/29-4/29 JICA 横浜



2024/2 ウクライナ写真展

(8) アフガニスタン難民支援

アフガニスタンで再びイスラム主義勢力タリバンが実権を握った2021年8月以来、混乱と迫害から逃れるため、800人以上のアフガニスタン人が日本に避難してきました。関係諸団体と連携をとりながら、必要な支援を行いました。

(9) アルペ小金井センター開設

2023年4月に、カトリック教会の女子修道院の一部を利用して、アルペ小金井センターを開設しました。

2 情報発信事業

(1) 国際理解教育事業（なんみんセミナー、オープンデー）

なんみんセミナー（オンラインを含む）全国の小中高校や大学、そして近隣の施設で実施しました。オンラインを含め、多様な形式で開催しました。また、オープンデーも開催し、施設見学や難民との交流の機会を提供しました。

2023年度	なんみんセミナー	45回開催	4,151人	参加
	オープンデー	47回開催	442人	参加
	合計	92回開催	4,593人	参加
2022年度	なんみんセミナー	55回開催	3,225人	参加
	オープンデー	17回開催	230人	参加
	合計	72回開催	3,455人	参加
2021年度	なんみんセミナー	20回開催	2,461人	参加
	オープンデー	3回開催	36人	参加
	合計	23回開催	2,497人	参加



2023/10 関東学院大学法学会主催講演会



2023/5 国際訪問団へのなんみんセミナー



オープンデーの様子

(2) ニュースレター、ホームページ、SNS 等での情報発信

1) ニュースレター「アルペ通信」

当団体の活動を広く伝えるため、ニュースレター「アルペ通信(A4 4 ページ)」を発行し、配布しました。

第 6 号 (2023 年 7 月、27,000 部)

第 7 号 (2023 年 12 月、27,500 部)



2) ニュースレター「アルペだより」

当団体の日常の活動を広く伝えるため、ニュースレター「アルペだより(A4 1 ページ)」を発行しました。

No. 8 (2023 年 4 月) No. 9 (2023 年 7 月)

No. 10 (2023 年 10 月) No. 11 (2024 年 2 月)



3) ホームページ

当団体のホームページにて、活動内容を詳細に紹介しました。また、定期的にイベントの募集や報告を掲載し、随時更新しています。



4) インスタグラム

難民の状況等の情報を発信しました。



5) SNS 配信、YouTube チャンネル

当団体の最新情報を発信するために、Facebook ページにて活動のアップデートを定期的に共有しました。同時に、YouTube チャンネル「アルペチャンネル」を通じて、動画形式での活動内容を広く配信しました。

6) パンフレット 活動紹介パンフレットをリニューアルし、47,000 部発行しました。

7) 新聞広告 カトリック新聞に広告を掲載しました。



(3) 小冊子「難民ってどんな人？」発行

(公財) かながわ国際交流財団 かながわ民際協力基金助成事業

難民のことを広く伝えるために小冊子を作成発行しました。
A5 版カラー 28 ページ、3,000 部

- ・ 難民ってどんな人？
- ・ 日本に来る“難民”っているの？
- ・ “難民認定”されないとうなるの？
- ・ Case1 / 就労 「働きたくても働けない」を支える
- ・ Case2 / 健康 「病院にかかれぬ」を支える
- ・ Case3 / 出産 「子どもを産み、育てる」を支える
- ・ Case4 / 教育 「教育を受ける権利」を支える
- ・ Case5 / 地域 「人とのつながり」を支える
- ・ Case6 / ケア 「心の傷」をいやす
- ・ Case7 / 自信 「居場所と生きがい」をつくる
- ・ Case8 / 制度 市や県とつながり、しくみをつくる
- ・ Case9 / 展開 モデル化し、全国に広める
- ・ みんなで迎えたウクライナ避難民
- ・ 私には、何ができるの？



(4) 世界難民の日 2023 *日本財団 助成事業

毎年 6 月 20 日は、国連が定めた世界難民の日です。この日に東京と鎌倉で、日本とミャンマーの合作映画「僕の帰る場所」の上映会を行いました。この映画は、ミャンマー難民の状況や彼らが直面する課題を描いており、観客に対して難民問題への理解と共感を深める機会を提供しました。難民問題に関心を持つ多くの人々が集まり、意識を高めるための重要なイベントとなりました。



(5) なんみん映画会 *日本財団 助成事業

2023年10月にパレスチナ自治区ガザでイスラエルとパレスチナの軍事衝突が発生したことを受け、関連する映画上映と監督のトークイベントを行いました。さらに、日本で暮らすクルド難民を描いた映画も上映し、難民申請者が直面する状況について考える機会が提供しました。このイベントは、観客に対して難民問題への理解を深め、共感を促す場となりました。

2023年11月24日(金) 18:00～

「ガーダ パレスチナの歌」
古居みずえ監督のトーク

2023年12月8日(金) 18:00～

「ぼくたちは見た - ガザ・サムニ家の子どもたち」
古居みずえ監督のトーク

2024年1月13日(土) 18:00～

「マイスマールランド」



(6) メディア掲載

多くのメディアから取材を受け、難民の状況や当センターの活動を紹介する機会を得られました。

【新聞 6件】

「難民」との交流、各地で広がる 課題知るきっかけに
「難民の方に自慢の一杯を」人気ラーメン店が鎌倉で提供
「日本が取り残される」改正入管法成立 現場は？
SDGs活動の生徒、鎌倉の難民施設を訪問…湘南白百合
スリランカの元警護員 NPO施設で一緒に暮らす 地域と活発に交流
難民に心温まる珠玉の一杯を 人気ラーメンで住民と交流 鎌倉

2023/04/15 日本経済新聞
2023/05/25 東京新聞
2023/06/23 タウンニュース
2023/10/31 読売新聞
2023/11/03 中部経済新聞他6紙
2023/11/25 毎日新聞

【雑誌 1件】

社会参画を通して難民認定申請者を支援

2023/11/01 月刊誌「WAM」

【ネットニュース 7件】

UNHCR 駐日事務所 鎌倉市視察報告
日本の行く末に暗澹たる気持ちに……「入管」に収容される人と逃げ続ける人の悲哀
NPO 法人アルペなんみんセンター小金井を本学学生が訪問
「日本が取り残される」改正入管法成立 現場は？
鎌倉市のアルペなんみんセンターの視察 難民の友に、難民と共に
講演会「ウクライナ戦争と人権と平和」が行われました
難民に心温まる珠玉の一杯を 人気ラーメンで住民と交流 鎌倉

2023/04/07 UNHCR 日本ニュース
2023/04/24 YAHOO ニュース
2023/06/08 白百合女子大学
2023/06/23 Yahoo ニュース
2023/08/31 選挙ドットコム
2023/11/15 関東学院大学
2023/11/25 YAHOO ニュース

【ラジオ 1件】

世界難民の日に寄せて

2023/06 鎌倉 FM

3 調査・研究事業

(1) 「鎌倉なんみん共生フォーラム」の取り組み

地域における難民の受け入れと支援に関する連携をはかるため、市民グループ、社会福祉協議会、社会福祉施設、市議会議員、メディア関係者などが集い、学習会（2回）、なんみん映画会（3回）を行いました。基調講演はオンラインでも配信し、全国から参加がありました。

■ 学習会の開催（公財）かながわ国際交流財団 かながわ民際協力基金助成事業

第3回 2023年7月25日（火）14：00～16：00

カトリック雪ノ下教会レベックホール

「難民との地域共生

～難民・移民フェスを立ち上げて～

講師：高谷 幸さん（難民・移民フェス実行委員会）



第4回 2023年9月18日（月）14：00～16：00

カトリック雪ノ下教会レベックホール

「増え続ける世界の難民と私たちの役割」

講師：二村 伸さん（ジャーナリスト、NHK 専門解説委員）



■ なんみん映画会の開催（P8 参照） *日本財団 助成事業



(2) 地域通貨「クルッポ」を活用した地域とのつながり

鎌倉市が運営する地域通貨「クルッポ」の加盟スポットとして、クルッポを使って体験できるプログラムを提供しました。また、インスタグラムへの感想や質問を送った方にクルッポを差し上げるなど、双方向のコミュニケーション手段として活用しました。



(3) 国内外の難民支援団体とのネットワーク

■ NPO 法人 移住者と連帯する全国ネットワーク

国内の難民移民支援ネットワーク団体「移住者と連帯する全国ネットワーク」に参加し、日本における難民の諸問題に関する情報収集および関係団体との連携強化に努めました。



移住連省庁交渉に参加
2023年11月 参議院議員会館

■ NPO 法人 なんみんフォーラム

～収容代替措置（ATD）の受け皿としての役割

国内の難民支援ネットワーク団体「なんみんフォーラム」に参加し、日本における難民の諸問題に関する情報収集および関係団体との連携強化に努めました。

また、法務省、日本弁護士連合会、なんみんフォーラムが2012年から実施している「日本の空港において難民としての庇護を求めた者に係る住居の確保等に関する事業」の受け皿としての役割が広がってきました。



日本の各空港に貼られている
難民申請に関する情報ポスター

■ JCAP Migrants and Refugees Network への参加

JCAP Migrants and Refugees Network (アジア地域の移民難民支援団体のネットワーク) のオンライン会議に定期的に参加し、情報交換、共有を行いました。また、以下の国際会議にスタッフを派遣しました。

2023年11月「ミャンマーフォーラム」インドネシア

2024年3月「ネットワーク会議」台湾



オンラインのネットワーク会議

ミャンマー難民の現地視察（タイ・メーソート）

2021年2月にタイで国軍によるクーデターが発生し、その結果、290万人以上の国内避難民が生まれ、1800万人以上が人道支援を必要とする状況となりました。また、120万人以上が隣国へ逃れ、難民として避難生活を送っています（UNHCR、2024年4月）。

このような状況を受け、JCAP ネットワークはミャンマー支援を協働で行うことを決定し、2024年2月にタイのメーソートでミャンマー難民の現地視察を行いました。視察後も、ネットワーク内の諸団体と情報を共有しながら、どのような支援ができるかを継続的に検討していく予定です。この取り組みは、ミャンマー難民に対する具体的な支援策を策定し、実行するための重要な一歩となります。



JCAP Migrants and Refugees Network 参加者と一緒に
2024年3月台湾・輔仁大学



ミャンマー難民キャンプ 2024年3月タイ・メーソート

2023 年度 活動計算書

(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

(単位:円)

科目名	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	200,000	
賛助会員受取会費	290,000	490,000
2 受取寄附金		
受取寄附金	46,761,428	
切手等受贈益	201,226	
施設等受入評価益	8,400,000	
ボランティア受入評価益	4,977,409	60,340,063
3 受取助成金等		
受取助成金	9,652,606	9,652,606
4 その他収益		
受取利息	1,862	
雑収益	344	2,206
経常収益計		70,484,875
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	11,001,300	
法定福利費	1,241,904	
福利厚生費	24,864	
ボランティア評価費用	4,977,409	
人件費計	17,245,477	
(2) その他経費		
支援費	4,989,725	
謝金	929,438	
印刷製本費	1,971,806	
会議費	36,996	
旅費交通費	942,155	
通信運搬費	1,245,765	
消耗品費	2,547,816	
業務委託費	506,000	
広告宣伝費	901,692	
新聞図書費	8,901	
賃借料	330,496	
保険料	286,470	
研修費	80,000	
水道光熱費	3,978,025	
減価償却費	268,613	
雑費	11,304	
施設維持管理費	4,945,753	
支払手数料	36,899	
施設等評価費用	7,800,000	
その他経費計	31,817,854	
事業費計		49,063,331

2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	4,064,600		
法定福利費	648,941		
福利厚生費	5,282		
人件費計	4,718,823		
(2) その他経費			
会議費	12,228		
旅費交通費	190,172		
通信運搬費	206,030		
消耗品費	119,492		
業務委託費	132,000		
賃借料	158,400		
保険料	108,120		
諸会費	45,123		
慶弔費	55,000		
減価償却費	16,608		
支払手数料	470,831		
施設等評価費用	600,000		
その他経費計	2,114,004		
管理費計		6,832,827	
経常費用計			55,896,158
当期経常増減額			14,588,717
Ⅲ 経常外収益			
1. 固定資産売却益		0	
経常外収益計			0
Ⅳ 経常外費用			
1. 固定資産除却損		0	
経常外費用計			0
当期正味財産増減額			14,588,717
前期繰越正味財産額			35,855,988
次期繰越正味財産額			50,444,705

(単位：円)

2023 年度 貸借対照表

2024年3月31日現在

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	55,104,835		
貯蔵品	514,018		
前払金	13,057		
未収金	373,448		
預け金	102,889		
流動資産合計		56,108,247	
2 固定資産			
工具器具備品	437,379		
固定資産合計		437,379	
資産合計			56,545,626
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	6,043,008		
預り金	57,913		
流動負債合計		6,100,921	
負債合計			6,100,921
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		35,855,988	
当期正味財産増減額		14,588,717	
正味財産合計			50,444,705
負債及び正味財産合計			56,545,626

2023 年度 計算書類の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日一部最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

- (1) 固定資産の減価償却の方法
固定資産は、定率法で償却をしています。
- (2) 引当金の計上基準
引当金は計上していません。
- (3) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理
施設の提供等の物的サービスの受入れは、活動計算書に計上しています。
また、計上額の算定方法は「3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」に記載しています。
- (4) ボランティアによる役務の提供

ボランティアによる役務の提供は、「4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記しています。

2. 事業費の内訳

(単位:円)

科 目	定住支援 事業	情報発信 事業	調査研究 事業	合計
(1)人件費				
給料手当	9,430,050	1,283,250	288,000	11,001,300
法定福利費	1,237,017	4,011	876	1,241,904
福利厚生費	24,864	0	0	24,864
ボランティア評価費用	4,977,409	0	0	4,977,409
人件費計	15,669,340	1,287,261	288,876	17,245,477
(2)その他経費				
支援費	4,989,725	0	0	4,989,725
謝金	869,438	0	60,000	929,438
印刷製本費	0	1,971,806	0	1,971,806
会議費	0	31,221	5,775	36,996
旅費交通費	587,185	42,854	312,116	942,155
通信運搬費	155,301	1,088,464	2,000	1,245,765
消耗品費	2,243,109	299,811	4,896	2,547,816
業務委託費	396,000	110,000	0	506,000
広告宣伝費	0	901,692	0	901,692
新聞図書費	0	8,901	0	8,901
賃借料	78,096	252,400	0	330,496
保険料	280,182	258	6,030	286,470
研修費	52,500	27,500	0	80,000
水道光熱費	3,978,025	0	0	3,978,025
減価償却費	242,002	26,611	0	268,613
雑費	11,304	0	0	11,304
施設維持管理費	4,945,753	0	0	4,945,753
支払手数料	35,307	1,592	0	36,899
施設等評価費用	7,800,000	0	0	7,800,000
その他経費計	26,663,927	4,763,110	390,817	31,817,854
経常費用計	42,333,267	6,050,371	679,693	49,063,331

3. 施設別費用割合

(単位:円)

	共通	鎌倉	小金井	合計
経常費用	10,880,521	33,862,983	11,152,654	55,896,158
割合	19.0%	61.0%	20.0%	100.0%

4. 施設の提供等の物的サービスの受入れの内訳

(単位:円)

内 容	金 額	算 定 方 法
イエズス会 日本殉教者修道院	6,000,000	50万円×12月換算
聖霊奉侍布教修道女会(聖霊会) 小金井修道院	2,400,000	20万円×12月換算
計	8,400,000	

5. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

(単位:円)

内 容	金 額	算 定 方 法
定住支援事業		
鎌倉 1,326個人・団体、延べ3,823時間	4,251,176	単価は神奈川県 lowest賃金(1,112円)及び東京都 lowest賃金(1,113円)によって算定しています。
小金井 257個人・団体、延べ652.5時間	726,233	
計	4,977,409	

6. 使途等が制約された寄付・助成金等の内訳

使途等が制約された寄付・助成金等は以下の通りです。

当法人の正味財産は50,444,705円ですが、そのうち1,179,137円は、つぎのように使途が特定されています。

したがって使途が制約されていない正味財産は49,265,568円です。

(単位:円)

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
助成金					
かながわ民際協力基金(ウクライナ支援)	0	554,483	554,483	0	日本財団期末残高1,179,137円は返還金です。
かながわ民際協力基金(育成事業)	158,740	318,520	477,260	0	
日本財団(ウクライナ避難民の定住支援)	0	9,800,000	8,620,863	1,179,137	
合 計	158,740	10,673,003	9,652,606	1,179,137	

7. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
工具器具備品	1,057,949	281,215	0	1,339,164	△ 901,785	437,379
合 計	1,057,949	281,215	0	1,339,164	△ 901,785	437,379

8. 借入金を増減内訳

借入金はありません。

9. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引はありません。

10. その他

中小企業退職金共済について

職員の福利厚生充実及び退職金準備のため中小企業退職金共済に加入しました。

引当金ではなく保険料として、323,240円費用計上しております。

2023 年度 財産目録

2024 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金		
手元現金 (鎌倉)	46,996	
手元現金 (小金井)	90,729	
預金		
PayPay銀行 (普通預金)		
ビジネス営業部 (鎌倉)	4,394,928	
ビジネス営業部 (小金井口)	1,632,272	
ビジネス営業部 (寄付口)	2,426,132	
ゆうちょ銀行		
通常貯金	1,375,179	
郵便振替口座	14,904,789	
PayPay銀行 (定期預金)		
ビジネス営業部	0	
ビジネス営業部 (寄付口)	30,002,050	
かながわ信用金庫		
逗子支店	231,760	
貯蔵品		
切手	514,018	
前払金		
Suica (ICカード)	13,057	
未収金		
クレジット寄付金	259,000	
社会保険料 (本人負担分)	114,448	
預け金		
ICカードデポジット (Suica)	1,500	
電話料金 (NTTテレホンカード)	101,389	
流動資産合計		56,108,247
2 固定資産		
有形固定資産		
工具器具備品		
パソコン6台	250,709	
液晶テレビ	39,917	
生ゴミ処理機	44,067	
冷蔵庫	102,686	
固定資産合計		437,379
資産合計		56,545,626
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金		
3月分給与/謝金/労災保険料	1,099,024	
3月分施設管理費ほか	3,764,847	
助成金返還金	1,179,137	
預り金		
3月分源泉所得税/住民税	57,790	
雇用保険料本人負担分	123	
負債合計		6,100,921
正味財産		50,444,705

監 査 報 告 書

2024年5月31日

NPO法人アルペなんみんセンター
理事長 榎川 勝也 様

私は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、NPO法人アルペなんみんセンターの2023年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の事業報告書及び計算書類（財産目録、貸借対照表及び収支計算書）について監査を行った。

私は、理事の業務執行の状況に関する監査に当たっては、重要な決裁書類等を閲覧し、必要と認める場合には質問を行った。また、経営の状況及び財産の状況に関する監査に当たっては、証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行った。

監査の結果、法人の業務は法令、定款及び2023年度の活動方針、事業計画に基づき適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認められた。

よって、私は、上記の事業報告書及び計算書類が、同法人の2024年3月31日をもって終了する事業年度の業務執行の状況、経営の状況及び同日現在の財政状態を適正に表示しているものと認める。

以上

監事

赤瀬川 由乃

NPO 法人アルぺなんみんセンター

役員 / 顧問 / 事務局スタッフ

役員 理事7名 / 監事1名 任期（第4期）：2024年4月1日～2026年3月31日

理事長	榎川 勝也	元国連 UNHCR 協会常務理事 / 事務局長	
理事	有川 憲治	特定非営利活動法人移住者と連帯する全国ネットワーク理事	
理事	小山 英之	特定非営利活動法人なんみんフォーラム代表理事 / 上智大学教授	
理事	杉本 大輔	全国難民弁護団連絡会議 事務局	
理事	津田 和加子	元桜の聖母短期大学教授	
理事	松浦 由佳子	アルペ小金井センター センター長	
理事	山本 菜奈	特定非営利活動法人 WELgee(ウェルジー) 理事	
監事	赤瀬川 由乃	民生委員・児童委員（鎌倉市）	(50音順、敬称略)

顧問弁護士 駒井 知会 マイルストーン総合法律事務所

顧問税理士 平石 博俊 平石博俊税理士事務所 所長

事務局スタッフ 9名 専従6名（有給4名、無給2名）、非専従3名（有給3名）

事務局長	有川 憲治	統括（宅地建物取引士、賃貸不動産経営管理士、空き家課題トータルコンサルタント）	
鎌倉センター長	津田 和加子	生活支援 / 調理担当（管理栄養士）	
小金井センター長	松浦 由佳子	プログラムコーディネーター（日本評価学会認定評価士）	
	漆原 比呂志	地域連携コーディネーター	
	大年 萌音	プログラムコーディネーター、日本語教師	
	金山 重之	法人事務担当	
	ビリク イリナ	定住支援 / ウクライナ語通訳	
	山崎 恵	法人事務担当	
	レニー トレンティノ	生活支援 / カウンセリング担当	(50音順、敬称略)